

本レポートは、あいち民主県議団に交付されている政務活動費の広報費を充当して作製・配布しています。ご意見・ご要望をお寄せください。



あいち民主

県議団県政レポート

令和7年度『Make Aichi Great』予算で、ビッグプロジェクトをさらに大きく前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させていく！

令和7年2月定例県議会(2月17日～3月24日)では、一般会計2兆9,413億余円を含む4兆4,444億余円の令和7年度当初予算をはじめ、99議案が上程され、慎重な審議の結果、全ての議案を可決しました。

令和7年度当初予算については、大村秀章知事の4年間の政策集「あいち重点政策ファイル360プラス1」と「あいちビジョン2030」に掲げた重要政策の方策を踏まえ、具現化する施策を13の柱(①「リニア大交流圏」の形成 ②産業首都あいち ③農林水産業の振興 ④次代を創る教育・人づくり ⑤安心と支え合いの福祉・社会づくり ⑥安心できる医療体制の構築 ⑦誰もが活躍できる社会づくり ⑧あいちのグローバル展開 ⑨選ばれる魅力的な地域づくり ⑩安全・安心なあいち ⑪環境首都あいちの推進 ⑫東三河の振興

⑬地方分権・行財政改革の推進)に沿って編成されています。

愛知の成長・発展の推進力となる「ジブリパーク」や「STATION Ai」、さらには「IGアリーナ」との相乗効果を生み出しながら、日本の未来をつくるビッグプロジェクトをさらに大きく前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させていく。こうした思いを込めた『Make Aichi Great』予算により「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」「進化する愛知」を実現してまいります。

また意見書においても、あいち民主県議団から「全国一律の子ども医療費助成制度の創設」と「戦争遺跡の保存・継承」を含め、計5件を国に提出いたしました。

トピック

世界トップレベルのグローバルアリーナ

「IGアリーナ」がオープンします

2025年7月
グランドオープン

2025年7月にグランドオープンを迎えるIGアリーナは、愛知・名古屋のシンボルとなる「世界トップレベルのグローバルアリーナ」としてスポーツ・エンターテインメント体験を創造し、そのインパクトを県内全域・国内全域に波及させます。



IGアリーナ(愛知国際アリーナ)の概要

PFI事業者	株式会社愛知国際アリーナ
建築面積	約26,500㎡
延床面積	約63,000㎡
階層	地上5階
最高高さ	41.0m
最大収容人数	17,000人(立見含む)
事業計画地	名城公園北園の一部(約46,000㎡)

◆ イベントの予定 ◆

- 5月24日 Hanz Zimmer Live in Japan(プレオープンイベント)
- 5月31日・6月1日 オープニングDAYs(開業式典、オープニングイベント)
- 7月13日 グランドオープン(大相撲名古屋場所)
- 2025年秋～ 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ ホームゲーム
- 2025年12月 ISUグランプリファイナル 国際フィギュアスケート競技大会2025
- 2026年9月～10月 第20回アジア競技大会 第5回アジアパラ競技大会

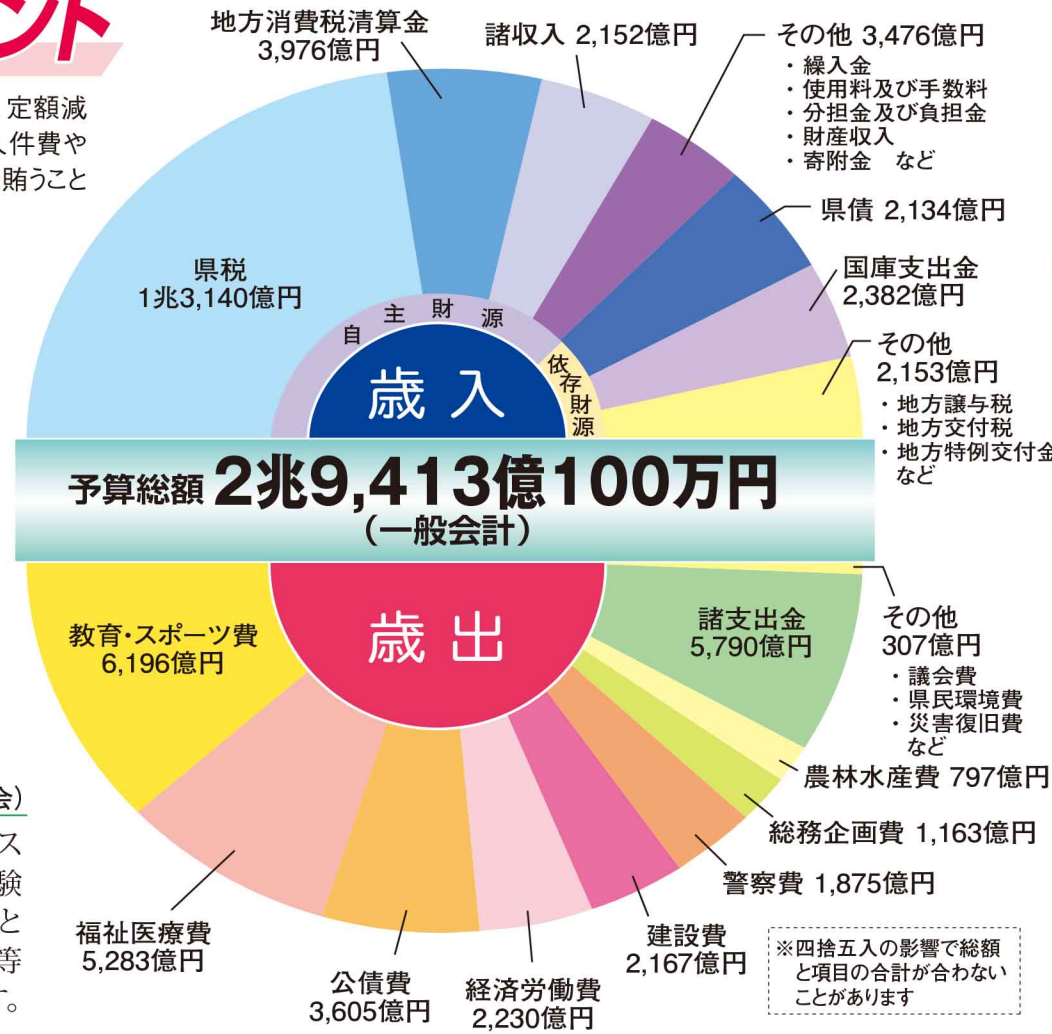
令和7年度 県予算のポイント

県税収入は、企業収益の減少による法人二税の減収を見込む一方で、定額減税の終了や個人所得の増加による個人県民税の増収が見込まれるが、人件費や扶助費などの義務的経費が増加することから、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が継続している。

歳入 県税収入は、前年度から233億円増の1兆3,140億円。法人二税については、県内企業の業績予想などを踏まえて減収を見込む一方で、個人県民税は、定額減税の終了による増収185億円のほか、個人所得の増加による増収が見込まれることから、定額減税の影響を除く県税全体としては、前年度と同水準を見込む。

歳出 人件費は、民間企業の賃上げの影響などにより増加。医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、引き続き増加。

(参考資料) ・令和7年度当初予算案発表資料 資料1 令和7年度の予算編成について
・令和7年2月定例会愛知県議会 知事提案説明要旨



鳥インフルエンザ・豚熱の防疫体制を強化 (農林水産部会)

高病原性鳥インフルエンザが発生し、家畜伝染病予防法に基づく防疫対策や農家への経営支援を緊急的に補正予算で対応・早期議決しました。本予算でも農家経営支援対策や消費拡大対策について農家に寄り添いながら対策を進めます。また、配合飼料価格の高騰により経営に影響を受ける畜産農家や燃料費など物価高騰に対する支援を迅速に行いあいちの農林水産を守っていきます。

「子どもが輝く未来基金」の運用を拡大へ (福祉医療部会)

「子どもが輝く未来基金」の運用見直し及び拡充を図り子ども食堂の備品の買い替えや新規購入に一定以上継続し運営している施設に対し一定額まで助成することで応援します。また児童養護施設退所後児童に対し、運転免許取得に関わる資金について上限十万円を限度に支援を行い、就職活動の下支えや社会の一員としての早期自立に繋がります。

IGアリーナと魅力ある県立高等学校の整備 (教育・スポーツ部会)

本年7月にIGアリーナがグランドオープンします。12月にISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会を開催し、大会気運を醸成するとともに、他県からの観戦者に愛知の魅力をPRします。教育分野では、県立中高一貫校の整備など、中学生が学びたいと思える、時代の変化や多様な生徒のニーズを踏まえた魅力ある県立高等学校づくりを引き続き推進します。

中小企業の人材確保や企業力強化等を支援 (経済労働部会)

中小企業の人材不足感が高まっている中、若者、中高年齢者、外国人、障害者等の人材確保のため、セミナーの開催、従業員の奨学金返済を企業が支援するための補助、企業と外国人双方からの相談に対応する窓口の設置等を行います。経営支援として、BCP策定支援や価格転嫁の機運醸成のためのシンポジウム開催等を行います。

南海トラフ地震など、大規模災害から県民を守る (総務企画部会)

愛知県基幹的広域災害拠点、大規模災害時に防災拠点機能を担う施設で県営名古屋空港隣接地に建設します。平時は消防学校として消防職団員や自主防災組織等の教育、育成を行います。第2期に整備する防災公園エリアは消防、警察、自衛隊等応援部隊の受入と非常用物資の受入、配送する物流拠点の建設も進め、令和10年度の運用開始をめざします。

先進的な技術等を持つスタートアップを活用してまちづくりを支援 (建設部会)

様々な地域課題を迎える市町村と、先進技術やサービスを持つスタートアップ等とをマッチングするとともに事業化に向けた実証実験を行うことにより、市町村の町づくりを支援します。コンサルタントと一緒に地域課題を整理し、市町村と提案のあったスタートアップ等と共同事業体を選定し、実証実験を実施し成果報告会を開催します。

匿名・流動型(匿流)犯罪グループの対策を強化 (警察部会)

近年被害が増加傾向にある匿流犯罪グループによる強盗や特殊詐欺等の予防や検挙を強化するため、令和6年度に運用を開始した映像解析システムを県警本部と各警察署間でネットワーク化するとともに、さらにAIを活用した捜査システムを導入します。また広域化・高度化するサイバー犯罪への対策を進めるため、新たに県警本部にサイバー局を設置することで組織体制を強化します。

女性の活躍促進/ペロブスカイト太陽電池普及拡大 (県民環境部会)

女性の採用拡大や職域拡大、育成、管理職登用のほかワークライフバランスの推進や働きながら育児・介護ができる環境づくりなどの取組みを行っている企業等を「あいち女性輝きカンパニー」として認証します。従来のシリコン系太陽電池と比べて軽量で柔軟性に優れる、次世代型太陽電池のペロブスカイト太陽電池を、公共施設等をはじめ幅広く実証導入し、社会実装を目指す取り組みを支援します。

あいち民主県議団 代表質問から

(2月26日 本会議)



あいち民主県議団 団長 森井 元志 (守山区 5期)

魅力的な地域づくりと更なる愛知の発展、安心安全の確保、誰もが活躍できる社会の実現等5項目13問にわたり知事の考えを質しました。

Q.1 アジア・アジアパラ競技大会を地域経済に優しく、サステイナブルな大会とするための取り組みは?

知事 今大会では、ほぼ全ての競技を既存施設で実施し、選手村等を整備せず既存の宿泊施設を活用するとともに、名古屋港ガーデンふ頭に移動式宿泊施設を用いるなど、大会終了後の利用も念頭に置いた無駄のない計画となるよう、経費の節減及び合理化の徹底に努めつつ、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を用意すべくアジア・オリンピック評議会、アジアパラリンピック委員会と協議・調整を進め、今大会が、国際スポーツ大会の新たなスタンダードとなり、後世に語り継がれる大会となるよう全力で準備を進めてまいります。

Q.2 中小企業とスタートアップとの連携の促進についての取り組みは?

知事 意欲はあるもののスタートアップとの連携に一步を踏み出せない中堅・中小企業を後押しし、連携の裾野拡大を図るため、企業の持つ技術・製品の強みの洗い出しから、スタートアップとのマッチング、新規参入領域の検討など、オンライン・ペーシジョンの具体的な進め方から新規事業立ち上げまでを一貫して支援するプログラムを実施してまいります。

Q.3 大規模災害時の福祉提供体制の維持・確保に向けての取り組みは?

知事 ライフラインの確保、必要な物資の供給など、施設機能を維持していくため、福祉施設の被災状況の把握と支援ニーズ等を迅速に取りまとめる体制や、関係機関との連絡・連携の方法等について検討を進め、次期「あいち防災アクションプラン」に新たに位置づけてまいります。また、食料等の備蓄や、非常用発電設備等の整備など、災害時にも業務を継続できる体制を整えていただくため、その準備状況を丁寧把握し、体制整備が進むよう働きかけてまいります。

Q.4 動物愛護の推進に向けて県動物愛護センター整備の取り組みは?

知事 犬や猫の譲渡施策をさらに推進するため、来年度から、新たな譲渡推進施設に必要な機能や、移転も視野に入れた整備手法の検討等を行うとともに、さらなる動物愛護の推進に努め、機能強化を進めてまいります。

Q.5 全国平均を下回る本県の女性管理職の登用実績や男女間の賃金差の解消に向けての取り組みは?

知事 男女間の賃金差の改善を目的に、体力が必要な作業でのロボットの活用や、就労継続に向けた育児休業後の支援などに取り組んでいる企業の事例をとりまとめ、県内企業の具体的な取組を促してまいります。来年度策定される、次期あいち男女共同参画プランにおいて女性管理職の登用の拡大や男女間の賃金差の解消について議論を重ね、本県の女性の活躍を更に進めてまいります。

◆その他の質問項目

- ・大阪・関西万博への出典について
- ・県民の日学校ホリデーについて(教育長)
- ・南海トラフ地震等の大規模災害に備えた取り組みの推進について
- ・複雑化巧妙化するSNSを利用した犯罪への対処について(警察本部長)
- ・脱炭素プロジェクトの創出・支援について
- ・適正取引・価格転嫁の支援について
- ・少子化対策について
- ・外国人材の受け入れについて



◆本会議の録画視聴はこちらから
愛知県議会ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/gikai/>

あいち民主議員の一般質問ダイジェスト

カスタマーハラスメント 対策防止条例制定へ

顧客による従業員への過度なクレームや理不尽な要求、いわゆる「カスハラ」への被害が深刻化しています。この対策として、愛知県もカスハラ防止条例をできるだけ早い議会に制定する必要があると思う。その条例には、働く現場において、いわれなき迷惑行為に対して、出入り禁止やサービスを停止するなど毅然とした対応ができる根拠となる内容が欲しい。愛知県の条例はどんな内容を考えているか聞いたところ、知事から、防止に向け実効性のあるものを6月議会制定に取り組むと答弁を得ました。



富田 昭雄 議員
(名東区 6期)

救急車の適正利用は 「#7119」導入を

家族が急病や怪我をしたときに医師や看護師に24時間相談できる救急相談窓口「#7119」。全国31都府県と主要都市5地域が運用し、昨年7月から名古屋市で運用が始まったが、同市以外を対象外。「#7119」は各都道府県で1ダイヤルしか割り当てがなく、県内全域を対象とするためにどうするのか伺い、「名古屋市の運用状況」と「各市町村の費用負担」など検討すると答弁を得た。なお県では15歳未満対象の救急相談窓口「#8000」は導入済み。早期に24時間県民が救急相談できる「#7119」を導入して、緊急性のある急病や怪我に対応できるように「救急車の適正利用」を推進し、安心安全な愛知を目指すよう強く要望した。



福田 よしお 議員
(日進市及び愛知郡 3期)

マイナンバーカードと 運転免許証の一体化について

今年3月24日からマイナンバーカードと運転免許証の一体化、いわゆるマイナ免許証が導入された。今交付されている運転免許証は廃止されず、継続して交付されるので、自分の希望に応じて、任意にマイナ免許証に切り替えることができる。今回の制度改正により、運転免許保有者の免許証の保有形態は3パターンになり、従来の免許証のみ、マイナ免許証のみ、マイナ免許証と従来の免許証の2枚持ちのいずれかを選択できるようになる。

県民の方々が安心してマイナ免許証に切り替えることができるように、マイナ免許証に関する制度の周知はホームページ、ポスター掲示に加え交通安全講話の機会に説明し、適正な運転免許事務が行えるよう担当者へ教育を継続的に行うと答弁。



朝倉 浩一 議員
(半田市 3期)

愛知県が目指す次世代 モビリティについて

県議会海外視察団において北米を視察し「空飛ぶクルマ」「自動運転タクシー」について現地現物で確認し、県の取組を質した。

質問に対して県から「空飛ぶクルマ」に関しては「空と道がつながる愛知モデル2030」の中で災害時への活用に向け関係者の協力をいただき早期の社会実装に取り組む。また「自動運転」に関しては、知多地域での高速バスの自動運転化、愛・地球博公園での自動運転バスの運行に加え、名古屋駅からSTATION Aiを結ぶ都心部における定期運航の実証を長期化及び3地点を結ぶ面的な実装に向けて取り組んでいくと答弁があった。



桜井 秀樹 議員
(豊田市 2期)

燃料電池商用車 (FC商用車) 普及に向けて

愛知県は都道府県別のCO₂排出量が第3位と多い。私が脱炭素の取組で最も期待するのが水素の活用。県もFC商用車普及に向けたワーキンググループを立ち上げたが、参画事業者から、高コストのため「水素が本当に将来のエネルギーの主流たりえるか」との心配あり。そこで車両や燃料のコスト高への対応や、国からの支援を得るための取組を質問。車両や燃料等への補助金新設と共に、知事からは30年度までにFC商用車の導入目標を全国目標台数の1/4にあたる7,000台として、国からの「重点地域」選定を何としても勝ち取る、との答弁があった。



細井 真司 議員
(刈谷市 1期)

駐車許可制度の 簡素合理化について

駐車許可制度とは様々な業種の方が、駐車禁止の道路標識のある道路に路上駐車しなければ、どうしても仕事が成り立たない場合に警察署に申請をすれば許可証が発行されるというものですが、オンライン申請の拡充、一括申請の開始、どのような職業の人が制度の対象となるのかの明確化、訪問理美容師に対する許可期間の延長、訪問看護師等に対する駐車禁止除外標章の発行を訴え、結果すべての質問に前向きな答弁を得ました。また、来年行われるアジア競技大会の正式種目から漏れた競技に対する取組を質問し、文化プログラム等、活躍の場を設けるとの答弁をいただきました。



むらしま 嘉将 議員
(中川区 1期)



YouTube
はこちら

あいち民主県議団
の活動をチェック!

facebook
はこちら

